

高等学校の新学習指導要領における「新聞」関連記述（抜粋）

この資料は、新学習指導要領（平成30年3月告示）から、「新聞」「報道」「論説」「ニュース」などの記述を抜き出したものです。「新聞」以外の語句については、新聞との関連性を勘案して抽出しています。

第1章 総則

第3款 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科・科目等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (3) 第2款の2の(1)に示す情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。また、各種の統計資料や**新聞**、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

第5款 生徒の発達の支援

1 生徒の発達を支える指導の充実

教育課程の編成及び実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (5) 生徒が、基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、生徒や学校の実態に応じ、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れることや、教師間の協力による指導体制を確保することなど、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図ること。その際、**第3款の1の(3)に示す情報手段や教材・教具の活用**を図ること。

第2章 各学科に共通する各教科

第1節 国語

第2款 各科目

第3 論理国語

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

A 書くこと

- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ウ 社会的な話題について書かれた**論説**文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。

B 読むこと

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

イ 社会的な話題について書かれた**論説**文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。

第5 国語表現

2 内容

[思考力、判断力、表現力等]

A 話すこと・聞くこと

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ウ 異なる世代の人や初対面の人にインタビューをしたり、**報道**や記録の映像などを見たり聞いたりしたことをまとめて、発表する活動。

第2節 地理歴史

第2款 各科目

第3 歴史総合

2 内容

C 国際秩序の変化や大衆化と私たち

(2) 第一次世界大戦と大衆社会

諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及と**マスメディア**の発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解すること。

第4 日本史探究

3 内容の取扱い

(2) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

ク 内容のDについては、次のとおり取り扱うものとする。

(1)、(2)及び(3)については、日記、書簡、自伝、公文書、**新聞**、統計、写真、地図、映像や音声、生活用品の変遷などの資料や、それらを基に作成された資料などから適

切なものを取り上げること。(略)

第5 世界史探究

2 内容

D 諸地域の結合・変容

(1) 諸地域の結合・変容への問い

人々の国際的な移動，自由貿易の広がり，**マスメディア**の発達，国際規範の変容，科学・技術の発達，文化・思想の展開などに関する資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し，問いを表現すること。

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

2 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

- (2) 調査や諸資料から，社会的事象に関する様々な情報を効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付ける学習活動を重視するとともに，作業的で具体的な体験を伴う学習の充実を図るようにすること。その際，地図や年表を読んだり作成したり，現代社会の諸課題を捉え，多面的・多角的に考察，構想するに当たっては，関連する各種の統計，年鑑，白書，画像，**新聞**，読み物，その他の資料の出典などを確認し，その信頼性を踏まえつつ適切に活用したり，観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめ，発表したりするなどの活動を取り入れるようにすること。

第3節 公民

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

2 内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

- (2) 諸資料から，社会的事象等に関する様々な情報を効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付ける学習活動を重視するとともに，具体的な体験を伴う学習の充実を図るようにすること。その際，現代の諸課題を捉え，多面的・多角的に考察，構想するに当たっては，関連する各種の統計，年鑑，白書，**新聞**，読み物，地図その他の資料の出典などを確認し，その信頼性を踏まえつつ適切に活用したり，考察，構想の過程と結果を整理し報告書にまとめ，発表したりするなどの活動を取り入れるようにすること。

第8節 外国語

第2款 各科目

第1 英語コミュニケーションⅠ

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

② 言語の働きに関する事項

言語活動を行うに当たり、例えば、次に示すような言語の使用場面や言語の働きの中から、五つの領域別の目標を達成するためにふさわしいものを取り上げ、有機的に組み合わせて活用するようにする。

ア 言語の使用場面の例

(イ) 多様な手段を通して情報などを得る場面

- ・本、**新聞**、雑誌などを読むこと
- ・テレビや映画、動画、ラジオなどを観たり、聞いたりすること
- ・情報通信ネットワークを活用すること など

第2 英語コミュニケーションⅡ

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ウ 読むこと

(ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、**新聞記事**や**広告**などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

第3 英語コミュニケーションⅢ

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような五つの領

域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

イ 聞くこと

- (ア) 日常的な話題について、インタビューや**ニュース**などから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
- (イ) 社会的な話題について、複数の**ニュース**や講演などから話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、聞き取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

ウ 読むこと

- (ア) 日常的な話題について、**新聞記事**や物語などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

エ 話すこと [やり取り]

- (イ) 社会的な話題について、**ニュース**や講演などを聞いたり読んだりして、情報や考え、課題の解決策などを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。

オ 話すこと [発表]

- (イ) 社会的な話題について、**ニュース**や講演などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

カ 書くこと

- (イ) 社会的な話題について、**ニュース**や講演などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを自分自身の立場を明らかにしながら、明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

第6 論理・表現Ⅲ

2 内容

[思考力、判断力、表現力等]

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

イ 話すこと [やり取り]

- (ア) 日常的な話題について、**ニュース**や**新聞記事**などの複数の資料を活用して、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合ったり、課題を解決するために話し合ったりする活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
- (イ) 日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、質疑応答をしたり、聞き手を説得することができるよう、**ニュース**や**新聞記事**などの複数の資料を活用して、意見や主張、課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに詳しく伝え合ったりするディベートやディスカッションをする活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを、整理して発表したり、文章を書いたりする活動。

ウ 話すこと [発表]

- (イ) 日常的な話題や社会的な話題について、**ニュース**や**新聞記事**などの複数の資料を活用して、段階的な手順を踏みながら、聞き手を説得することができるよう、意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

エ 書くこと

- (イ) 日常的な話題や社会的な話題について、**ニュース**や**新聞記事**などの複数の資料を活用して、発想から推敲まで段階的な手順を踏みながら、読み手を説得することができるよう、意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

第10節 情報

第2款 各科目

第1 情報Ⅰ

2 内容

(2) コミュニケーションと情報デザイン

メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) **メディア**の特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。
- (イ) 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。
- (ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解

し表現する技能を身に付けること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

- (ア) **メディア**とコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え，それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。
- (イ) コミュニケーションの目的を明確にして，適切かつ効果的な情報デザインを考えること。
- (ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し，評価し改善すること。

第2 情報Ⅱ

2 内容

(2) コミュニケーションとコンテンツ

多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性に着目し，目的や状況に応じて情報デザインに配慮し，文字，音声，静止画，動画などを組み合わせたコンテンツを協働して制作し，様々な手段で発信する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 多様なコミュニケーションの形態と**メディア**の特性との関係について理解すること。
- (イ) 文字，音声，静止画，動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けること。
- (ウ) コンテンツを様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

- (ア) 目的や状況に応じて，コミュニケーションの形態を考え，文字，音声，静止画，動画などを選択し，組合せを考えること。
- (イ) 情報デザインに配慮してコンテンツを制作し，評価し改善すること。
- (ウ) コンテンツを社会に発信したときの効果や影響を考え，発信の手段やコンテンツを評価し改善すること。

第3章 主として専門学科において開設される各教科

第3節 商業

第2款 各科目

第1 ビジネス基礎

3 内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。

イ 各種**メディア**の情報を活用するなどして経済社会の動向を捉える学習活動を通して、ビジネスについて理解を深めることができるようにすること。

第7節 情報

第2款 各科目

第11 メディアとサービス

2 内容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) **メディア**と情報社会

ア **メディア**の機能

イ **メディア**の活用

(2) **メディア**を利用したサービス

ア **メディア**を利用したサービスの機能

イ **メディア**を利用したサービスの活用

(3) **メディア**を利用したサービスの役割と影響

ア **メディア**を利用したサービスと情報社会との関わり

イ **メディア**を利用したサービスと情報産業との関わり

3 内容の取扱い

(2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。

ア 〔指導項目〕の(1)のアについては、多様な**メディア**の定義と特徴について扱うこと。イについては、**メディア**を活用している身近な事例を取り上げ、利用者の目的や状況に合わせた**メディア**の適切な選択について扱うこと。

イ 〔指導項目〕の(2)のアについては、社会で用いられている**メディア**を利用したサービスの種類と特徴について扱うこと。イについては、**メディア**を利用したサービスを分析する実習や新たなサービスを企画し提案する実習を行うこと。また、センサなどと組み合わせたサービスについても触れること。

ウ 〔指導項目〕の(3)のアについては、**メディア**及び**メディア**を利用したサービスの変遷と今後の展望について扱うこと。イについては、**メディア**を利用したサービスが情報産業として成り立つための条件について扱うこと。

第13節 英語

第2款 各科目

第2 総合英語Ⅱ

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ウ 読むこと

(ア) 日常的な話題について、**新聞記事**や**広告**などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

(イ) 社会的な話題について、**論説文**や**報告文**などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

第3 総合英語Ⅲ

2 内容

〔思考力、判断力、表現力等〕

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

イ 聞くこと

(ア) 日常的な話題について、インタビューや**ニュース**などから必要な情報を正確に聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(イ) 社会的な話題について、複数の**ニュース**や講演などから話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、複数の視点を整理、比較して、概要や要点、詳細を把握する活動。また、聞き取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

ウ 読むこと

(ア) 日常的な話題について、**新聞記事**や物語などから必要な情報を正確に読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

エ 話すこと〔やり取り〕

(イ) 社会的な話題について、**ニュース**や講演などを聞いたり読んだりして、情報や

考え、課題の解決策などを複数の情報を整理、比較しながら、明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。

オ 話すこと [発表]

(イ) 社会的な話題について、**ニュース**や講演などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを複数の情報を整理、比較した上で自分自身の立場を明らかにしながら、明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

カ 書くこと

(イ) 社会的な話題について、**ニュース**や講演などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを複数の情報を整理、比較した上で自分自身の立場を明らかにしながら、明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

第6 エッセイライティングⅠ

2 内容

[思考力、判断力、表現力等]

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような書くことの言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ア 書くこと

(ア) 日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、**ニュース**や**新聞記事**などを聞いたり読んだりして、論点を整理した上で、それらを活用して情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

第7 エッセイライティングⅡ

2 内容

[思考力、判断力、表現力等]

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような書くこと

の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

イ 書くこと

(7) 日常的な話題について、複数の**ニュース**や**新聞記事**などを聞きたい読んだりして、読み手を引きつけたり説得したりできるように、論点を整理した上で、それらを活用して情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

以 上